

市民交流を促進する交流拠点施設を整備する取組 (長崎県長崎市)

【支援措置】

- ① 中心市街地再活性化特別対策事業 総務省[元利償還金の30%を特別交付税により措置]
- ② 社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業) 国土交通省[国費率 2/5]
- ③ 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) 国土交通省[国費率 1/2]

【事業費】

21,600百万円(見込み)

交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、市民交流を促進する施設である出島メッセ長崎と都市ブランド向上に向けたホテル及び地域の賑わいと活力を生み出す民間収益施設からなる交流拠点施設の整備を行う。

新長崎駅西側の用地において、約2,700㎡の大ホール、約3,800㎡のイベント・展示ホール、大小24室の会議室を備え、学会や会議、地域住民が交流できるイベントなどを開催可能な施設、出島メッセ長崎を整備する。

ホテルヒルトン長崎や民間放送局NBC長崎放送が併設される。

当該施設はPFIにより民間事業者の提案を基に設計・建設を行い、指定管理者が利用料金収入による独立採算で施設の運営・維持管理業務を行う。積極的に民間活力と知見を取り入れることで、事業全体の効率化とコスト縮減が期待できる。

イベント・展示ホール等に社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)を、ペDESTリアンデッキや駐車場等に社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)を、用地取得やその他施設整備に中心市街地再活性化特別対策事業を活用している。

年間の催事開催による大きな経済波及効果(約114億円)やビジネス・イノベーション機会の創造、都市の競争力・ブランド力向上が見込まれる。

【計画書上の事業名】 交流拠点施設整備事業



完成イメージ

※ヒルトン長崎

及びNBC長崎放送整備は民間事業

 **出島メッセ長崎**
DEJIMA MESSE NAGASAKI